

前田利嗣 としかた 歌人。安政五年四月十九日加賀國金澤城内生れ、明  
 治二十二年六月十四日没（八十五—九〇）。字惟水、幼名多慶若。號柳  
 莊、梅園、奇峰、詩筆。私諱淳正。少時漢籍を學ばず藩儒加藤桃葉等より學び、  
 上京後川田護江に業を受け、長に二洲の書を學ぶ。明治二十一年主臈宮、  
 のち貴族院の列し、麝香閣祇儀となる。侯爵。前田利爲はその養嗣子。  
 まは おね 歌の好む、植松育経、中島歌十、叔父前田利興等の學び、  
 高崎正風等の興風會に入りて研鑽、自ら一萬餘首の及ぶ歌作を爲した。  
 永山近影編『淳正公家傳』（大正十年四月）二十二年永山近影刊（おの  
 ろ。

